

いなべ市議会行動計画の検証

自己評価表のとりまとめ及び委員会の検証

R7.2.6 修正（修正箇所 成熟度評価モデルの評価と分離）

(2)市民との対話（課題認識の精査④）

■広聴広報委員会の機能（議基 3条-(1)~(3)、8条、10条）

設問 1	広聴広報委員会を設置して、市民との対話、議会の情報発信及び情報収集機能は進んだか。
○：17人 ×：1人	
<p>①情報発信はとても進んだと思うが、情報収集においても広聴広報委員会の機能を積極的に活用して情報収集もより進められれば良いと思う。</p> <p>②議会閉会ごとに報告会を持つことで議会の情報発信が進んだと思う。また、2回の対面での報告会と意見交換会では、市民の思いを聞くことができ、市政への提言などに生かせると思う。</p> <p>③年2回市民と対面して議会報告会及び意見交換と年2回のビデオによる議会報告を実施。各町に20名程度の参加者で合計80名参加が理想。少人数でも多くの意見が聞けた。</p> <p>④市民から意見が増えたと思う。</p> <p>⑤議会報告会、意見交換会の開催頻度が増え少しずつではあるが、前進している。</p> <p>⑥実施したものの、参加人数も少なく、まだまだ努力の余地がある</p> <p>⑦議会報告会・意見交換会の数が増えた。また、議案への市民からの意見も聴き、議案審査に反映するしくみができた。現在準備中の市民アンケート調査についても実施される。アンケート結果を参考に、議会だよりの誌面改善や SNS 運用は、今後、検討を重ねたい。</p> <p>⑧報告会の回数が増え、みんなの声カフェなど新たな活動が追加になったので当然市民との対話は増え、意見を聞く機会は増えた。内容、取組みかたには改善工夫していくと良いと思う。</p> <p>⑨議会報告会、親子議会体験ツアー、市民意見の募集などができた。</p> <p>⑩議会報告会等においても報告と共に意見交換会において情報収集機能は徐々に進みつつある。議会報告会を対面での実施や DVD の報告など新しい取り組みに努めている。</p> <p>⑪特に広聴の分野では、組織が確立し具体的な取組みができた。今後は、実施してきたことに対する確認と評価を委員会で行い、次の活動改善につなげることと思う。</p> <p>⑫広報広聴委員会が情報発信だけでなく、積極的に市民と対話、意見収集する環境づくりに大いに寄与した。</p> <p>⑬議案の意見募集、議会報告会、動画配信による議会報告、モニター制度、親子議会ツアーなど市民との対話、情報発信・収集の機会が増えた。対話となっているか、情報が届いているかなど効果、成果については検証をしながら検証し充実させていく必要はあると思う。</p> <p>⑭市民にビデオ発信を多く企画してもらった。</p> <p>⑮ビデオなどで、市民に情報発信ができているなど感じた。</p> <p>⑯情報収集機能は進んだ。</p> <p>⑰旧4町単位で実施し、徐々にではあるが参加が増えてきている。アンケート結果においても、参加者からおおむね評価が高いと推測する。</p>	

【取組・成果】

- ◆令和5年11月28日 広聴広報委員会 設置
- ◆みんなの声カフェ 申込件数2件
- ◆議会報告会 対面 2回／動画配信 2回

広聴広報委員会が中心となり...

- ・議会だより、録画配信に加えSNSによる発信も充実させた。
- ・議会報告会の拡充により、市民との対話の機会が増えた
- ・みんなの声カフェを各常任委員会で実施した。
- ・議会モニター制度の導入により、多様な意見をいただいた。
- ・親子議会体験ツアーを実施
- ・市民からいただいた改善点は着実に運営に反映できている。
短期的に評価するのではなく、長期で成果を見ていく点でもある。

【委員会評価】

【検証】

★情報発信

(課題) SNSのフォロワーの数が少ない。

(課題) 議会の情報発信が、どれほど市民に浸透しているかを考えたとき、実績からしてあまり成果がない。引続き、議員による直接の声かけが必要。

(改善案) 情報発信の実施主体を明確にし、迅速に情報発信することで内容の充実を図る。

(改善案) SNSのフォロワーを増やすため、各議員が積極的にシェアをしたり、「#」による発信を行う。

★広聴広報委員会の運営

(課題) 広聴部会の運営が、立ち上げ1年目であることもあり、広聴の役割を果たせていない部分がある。

(課題) 広聴と広報のすみ分けができていない。

(改善案) 議会報告会の資料に議会だよりの紙面を使うこともあるため、市民にわかりやすい紙面にしていく工夫が必要。紙面構成について、広報委員会で協議する。(特に予算、決算時の特集)

(改善案) 新たに議会で取り組み始めた活動(議会報告会(対面・動画配信)、みんなの声カフェなどは、広聴部会の4人だけで担うのではなく、広聴部会以外の議員にも協力を呼びかけていくなど広聴広報委員会が議会のマネジメントを図る必要がある。

(改善案) 「主権者教育」「みんなの声カフェ」「議会報告会」を、広聴部会が担当とひとくくりにするのではなく、分担させた方が、迅速かつ円滑に進めることができるのではないかと。

(提言) 広聴広報委員会で、それぞれの目標値を設定し、満足度を数値化するなどして効果を追うべき。

(提言) 広聴広報委員会を設置して1年が経過したばかりであり、今後、広聴広報委員会においても活動のふり返りを行い、活動の拡充を検討されたい。



■意見交換の実施（議基 3条-(3)、26条-3）

設問2	新たに取組が始まった「みんなの声カフェ」について、議会活動に反映できる取組になっているか。
○：11人 ×：7人	
<p>①みんなの声カフェで頂いた意見が委員会での事務事業評価で活用されている。</p> <p>②みんなの声カフェに申し込みが少ない。もう少し周知方法の工夫や申し込み方法の簡素化などを考えていくべきだと思う。</p> <p>③取り組んでいるが成果が出ていない。議会からもっと積極的に各種団体、地域等に声かけが必要。（広聴部会を中心に）</p> <p>④行っていないのでわからない。</p> <p>⑤まだ周知不足ではあるが、所属する総務経済常任委員会でのカフェ（獣害について）の開催は今後の議会活動に反映しやすいと感じている。</p> <p>⑥2回実施したが、その参加者との会議内容を全員懇談会で共有反映できた。</p> <p>⑦市民が気軽に議会と意見交換などできる仕組みができたことは大いに評価する。しかし、大きな懸案は周知である。今後、議会だより、SNS などでの積極的な発信を検討しなければいけない。</p> <p>⑧じっくりと話を聞く事が出来た。実情と課題がわかった。 ただ全員懇談会での報告だけで終わっている。委員長は次のステップを用意するとよい。また委員の中で一般質問をして、その後委員会で取り組むのもよい。</p> <p>⑨まだ回数は少ない、内容は共有できている。</p> <p>⑩声カフェにおいて担当委員会で出かけ出された話題を議員全員に共有できたが、参加件数など、今後の展開への課題もある。</p> <p>⑪内容の報告があり、議会活動に反映できるものになっている。</p> <p>⑫いただいたご意見を議会活動に反映できたとまでは言える段階に至っていない。</p> <p>⑬「みんなの声カフェ」が取り組まれていることは評価できるが、そこでの中身が共有され、委員会などで深められてるとか議題となっているかといえ、そうは言えないと思う。議会活動に反映できる取組に進化させる必要がある。</p> <p>⑭存在意義すら知らず。</p> <p>⑮委員会での活動で、一定の人だけにしか浸透していないと感じた。議会に反映するにはまだ問題がある。</p> <p>⑯大きな成果は見えない。今後に期待。</p> <p>⑰現時点で2組の申し込みに留まっている。獣害における声カフェも意見を聞いただけで議会活動に反映されていない。</p>	

【取組・成果】 ◆みんなの声カフェ 申込件数2件 R6.3.25 NPO法人快正教学会「福祉・介護人材の確保及び育成」 R6.6.20 株式会社命洗「いなべ市の獣害対策」	
【委員会評価】 ○	【検証、改善策等】 (課題)「声カフェ」でいただいた意見を、どのように議会へ反映したか、申込者へのフィードバックができていない。 (課題) 申込数が少ない。 (改善案)「声カフェ」という制度があることを市民は知らない。周知・啓発を図る必要がある。 (改善案)「声カフェ」を知ってもらうため、議会から地域へ出向く必要もある。 (改善案)「声カフェ」の運営を議員が役割分担して行動するよう、制度を構築する。 (改善策) 声カフェの運営をマニュアルにしておくこと全議員が動きやすい ※声カフェで得た意見の反映先はどこになるか。いくつかの選択を示す。 (要全体共有) (提言) 周知・啓発の方法を広聴広報委員会で再検討いただきたい。 (提言) 広聴広報委員会以外の議員も、「我が事」と捉えていただく必要がある。

■議会報告会 (議基 3条-(1)~(3)、8条、10条)

設問3	市民と対面による議会報告会(4月、10月)を実施して、見直すべき点、拡充すべき点などを、コメント欄に記入してください。
○： ×：	
<p>①今まで議会に興味がなかった人にも参加してもらえると良いと思う。</p> <p>②前回、ポスターを市内店舗に貼らせていただいたことは良かったと思う。今後は、そのつもりで早めに準備し、もう少し大きなサイズで作成し、もっとたくさんの場所に貼らせてもらうのはどうか。 委員会で決定したことを、最終的に議員全員で共有し確認し合う必要がある。集合時間、進行、気をつけることなど知らずに参加した方がみえたので。</p> <p>③4会場を2会場にしてはどうか。</p> <p>④グループ内で参加者全員から意見が聞けるように、最初は1人2分と決めて順番に意見を言ってもらおう。1周したら手をあげて意見を言うようにすると良いと思う。</p> <p>⑤毎回同じ人物が出席しているように見えるが、報告よりも意見交換会に時間をとったら。</p> <p>⑥多くの市民に知っていただく周知方法を見直す必要がある。若い世代向けのPR(インターネット利用など)拡充したい。</p> <p>⑦まだまだ参加者が少なく、広報の改善・強化が求められる。</p> <p>⑧2回実施して思うことは、市民は報告よりも意見交換のほうに関心を有している。また、主催者教育も念頭にすると、若い世代にターゲットを絞った企画を考えてもよいかと思う。</p> <p>⑨報告はプリントと配信でよく、質疑を行うとよい。あるいは事前に質問を聞いておく。参加者には事前に読んでもらわないと質問が出ない。 ワークショップ形式は良いがファシリテーションのレベルを上げる勉強をしていく課題がある。 議員の議論を見もらう会、議会の録画配信を見もらう会に市民の意見交換会にする会など、方法を変える。また委員が集客に責任をもっと持つべき。いや会そのものの責任を持って取り組むべき。</p> <p>⑩4月より10月のほうがなれて要領が掴めてきた。今後、市民の意見交換をより良くするために、検討が必要。</p> <p>⑪参加者の固定化の取組み、フリートークでのファシリテーター養成の必要性を感じる。</p> <p>⑫9月議会の報告会では、前回の反省を踏まえ意見交換会の時間を多くとったが、アンケートを見ても肯定的な意見が多く良かった。議会報告の部分は、「議会ならでは」の部分に絞り、事業などについては資料報告でよいと思う。</p> <p>⑬おおむね上手に進行できた。まだ2回の実施。さらに回数を重ねてから反省点を見出したい。</p> <p>⑭進化する秘策は思いつかない。参加者も続けていくことで周知が進み増えるのではないか。</p> <p>⑮回数が多すぎる。参加者が限られ、少ない。対面は1回2か所で行うべき。</p> <p>⑯来場者が決まってきて、新しい年齢層へのアピールが必要だと感じる。 回数が多い。</p> <p>⑰旧町単位4か所は多すぎる。他町の会場へ来る人もいる。2回行ってもいいが、できれば1会場で。</p> <p>⑱集合時間を30分遅らせても良い。その後、もう少し綿密な打ち合わせが必要。例えば今回の意見交換のテーマが2つあったが、1つ記入して意見交換し2つ目に移るのか。2つとも同時に記入して意見交換すべきか曖昧だった。</p>	

【取組・成果】

◆議会報告会

①4月実施 総参加者数 34人

4/21 員弁 8人

4/24 大安 9人

4/25 北勢 4人

4/27 藤原 13人

②10月実施 総参加者数 44人

10/20 北勢 15人

10/23 藤原 5人

10/24 員弁 12人

10/27 大安 12人

【委員会評価】

【検証、改善策等】

(検証) 4会場にした意図は、機会を多くつくる取組だった。

(課題) 参加者のアンケート結果から、議会報告の内容に関する理解度は低い。市民にわかりやすいもの、興味が持てるものに。

(課題) 参加者が少ないと、参加しにくくなっていく。

(改善策) 運営方法について、いろんな方法を試行して選択していつてはどうか。

(改善策) 参加者が固定化してくることが想定できる。若い世代が参加しやすい環境をつくるため、世代を限定した「会」をつくってはどうか。

(改善策) テーマを若い世代が参加しやすいものにする

(改善策) 議会報告会と意見交換会を分ける。

(改善策) 政策討論を入れては？

★4会場が多いのか、少ないのか...

(改善策) 参加の選択肢を増やすのであれば、平日昼間も増やしているのでは。

(提言) 1つのイベントと捉え、出席者数、満足度は数字として追うべきである。

(提言) 議会報告会はどの世代でも参加できるものに。

(提言) 議会が議決したことをしっかり伝えていただきたい。合議で議決に至った経緯を説明する場であること(議会基本条例第10条)に基づくものに。

(提言) 会場、開催数は広聴広報委員会で工夫しながら企画していただく。

(提言) 1会場を成立するようにすることが重要で、会場数、開催数は議会で決めればいい。

(提言) 参加者とのつながりを維持できるような工夫が必要。

(提言) 議会、議員の都合で回数を決めるのではなく、市民にとってどうかを考えるべき。4会場をしばらく続けては。

(提言) オンラインの回を設ける。→参加の機会を増やせる。

■議会報告会（議基 3条-(1)~(3)、8条、10条）

設問4 動画配信による議会報告会（7月、1月）を実施して、見直すべき点、拡充すべき点などを、コメント欄に記入してください。

○： ×：

- ①もっと多くの人に見てもらえる工夫が必要。
- ②市内に出て、議案に挙がっている施設を撮影して報告すると思う。
- ③議会の前に、今回の議会で市民に関心がある議案を2項目程度大々的にPRし、審議経過と結果を動画配信する。
議員全員が交代で動画配信することは見る市民があきないので良い。
- ④動画を見てもらえば市民にも信用されるので、もう少しリンクなどでアピールしたら。
- ⑤現在取り組み途中ではあるが、関心のある世代向けに動画を分ける取り組みをしてはどうか。
- ⑥動画報告会を掲載するために、公式の動画配信チャンネルをつくったが、報告会を視聴していただくために、チャンネルを周知する必要がある。そのためには、報告会だけでなくコンテンツを充実させることが課題。また、視聴し続けていただけるような編集の工夫は必要。
- ⑦見てもらう活動が課題。
まず議会のフォロワー数が少ないからこれを上げる活動をするべき。
事務局任せでなく SNS は広報か広聴の委員長が責任者にしてとりくんではどうか。
- ⑧長さ、内容は良いと思った。AI の発音で気になるところがある、他の AI なら大丈夫なのか？
- ⑨議場だけでなく、イベント参加等の配信も加えてはどうか。
- ⑩動画配信は、その環境のある市民が見ることができるが、その利点を生かし動画配信や録画配信など関連したコンテンツに誘導することができればと思う。
- ⑪もうちょっといい意味でくだけた、市民に見やすい内容にしてはどうか。
- ⑫思いつかない。
- ⑬回数が多すぎる。
- ⑭現状で努力しているのでこれを定着していくのもよい。
- ⑮今のままで良い。
- ⑯YouTube での動画配信だが、11月28日時点で、7月（令和6年第2回定例会）は335回、1月（令和5年第4回定例会）は165回視聴と閲覧数が非常に少ない。せっかく配信しているのだからもっとPR・啓発していくべき。

【取組状況】

◆動画配信による議会報告

- ①1月配信 総閲覧数 170回（2025.1.6現在）
- ②7月実施 総閲覧数 443回（2025.1.6現在）

【委員会評価】

【検証、改善策等】

（提言）2～3分にまとめたものを配信するよう心がける。ただし、配信する内容は、広聴広報委員会で工夫する。
 （提言）動画配信を年2回としたが対面に変えてはどうか。→年4回。
 ※2回は4会場にしなくても、1会場でも良い。
 例：4月・10月は4会場
 7月・1月は1会場

(3) 情報公開と説明責任（課題認識の精査⑫）

■議案審議の過程の見直し（議基 5条、12条(1)～(6)、13条、19条、25条）

設問5	議案勉強会（参加任意）を行うことで、各議案の着眼点と議案審議に必要な情報収集の確認ができるようになったか。
○：14人 ×：4人	
<p>①各議員の違った角度からの着眼点やその議案についての補足説明もあり、とても参考になる。</p> <p>②先輩議員、事務局から様々な着眼点や見方を聞かせていただくことで、総括質問につながったり、自分の知識では考えつかないことに気づかされたり、また、議会の様々な歴史を知ることができて、いつも大変に勉強になっているので、個人的には大変にありがたい。</p> <p>③個々の意見は委員会で発言すべき。</p> <p>④自分と一緒にの着眼点もあるが、違った見方も発見できること。議案に対する新たな情報が得られる。着眼点でいろいろな意見が出た後、議案ごとに着眼点をまとめると良い。</p> <p>⑤まだよく分からない。</p> <p>⑥先輩方のこれまでの経験からの論点もお聞きできるため、大変助かっている。</p> <p>⑦個人的にはまだまだだが、議会全体としてレベルが上がった。</p> <p>⑧勉強会により議案審査が以前より活発化してきたように思える。経験が長い議員から、政策や事業などの今までの経緯など、会派を超えて聴く機会ができたことも良い。</p> <p>⑨本来は会派で勉強会をすべきだが、他の議員の視点も参考になる。より気づく可能性が高い。</p> <p>⑩一回しか出ていないので、よく分からない。</p> <p>⑪各議案の論点整理が行えることが出来ている。</p> <p>⑫参加する機会は少なかったが、議案の共通認識をできることが、評価の大前提になるため、有意義な取り組みと考える。</p> <p>⑬他会派、いろんな議員の考え方がわかって良かった。</p> <p>⑭9月定例会の総括質疑者が増えた。</p> <p>⑮委員会、同分科会があり、まったく必要なし。</p> <p>⑯以前は個人又は会派でまとめ勉強したが、全体で勉強会をすることで、かえって行政への質問に「確認ですか？」という質問なのか独り言かなどわからない問が増えたのは如何かと思う。委員会での議論までいかないよう注意が必要。</p> <p>⑰個々の考え方を聞くのは良いが、集約するのはダメ。委員会の意味がない。</p> <p>⑱私個人はこれまで行政経験があるので、着眼点、情報収集（新しいきずき）は無いが、他の議員がどう思っているかは参考になるので、今後も出席したい。</p>	

<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎定例会の議案書配付後、速やかに実施。 ・ 出席者の状況：議員の6割～7割 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期定例会の日程に「勉強会」も位置づけられたことで、予定を立てやすくなった。 ・ 勉強会では、自身だけでは考えられない視点での着想を得るため、意義があった。 ・ 勉強会の進行を経験することで、経験の場になった。 	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
○	<p>(課題) 議案勉強会の捉え方に齟齬がある。</p> <p>(提言) 議案勉強会は、議案の趣旨及び着眼点の確認と議案に関する情報収集を目的としていることを再確認する重要な場である。</p>

■議案審議の過程の見直し (議基 8条、9条)

設問6	議案に対する市民意見の聴取について、市民の意見を議案に反映できるようになったか。
○：6人 ×：12人	
<p>①議案に反映できるようになっては来ているが、より多くの市民の意見を頂ける工夫は必要。</p> <p>②委員会の所管事務調査を考える時、市民のご意見の中から多かつたものをテーマに取り上げることができたり、議会ごとにアンケートを取ることで委員会に意見を反映することができたと思う。</p> <p>③議会として取り組んでから日が浅いため成果が出ていない。委員会、会派などでもっと議案に対しての意見聴取が必要。市民からの意見を積極的に聞こうとする姿勢が出てきたこと。</p> <p>④市民から案件に対してはまだに出来ていないと思う。</p> <p>⑤すべての意見ではないが、市民の率直な意見は参考になっている。</p> <p>⑥議案を市民に伝えるプロセスに改善の余地が求められる。</p> <p>⑦議案への市民への意見を審査中に聴けるようになったことは大変意義深い。委員会での議案選考において「何について、どのような意見を聴くべきか」という視点が不安定なので、四日市市議会などと意見交換を含めた研修会を実施したい。</p> <p>⑧何故、この議案を取り上げたかと、着眼点の説明、背景などを言わないとより深い意見がもらえない。 またこれも SNS のフォロワーの数が少ないので見てもらっていない。 他にも広告など見てもらう活動と責任者を広報か広聴の部会長にするとよい。</p> <p>⑨頂いた意見に対しての答えをだしたり、継続していくものについてどうするかが、決まっていないように思う。</p> <p>⑩まだまだ、意見を聴く機会が少なかったことを感じる。</p> <p>⑪議案審査(評価)の一視点として反映できた。</p> <p>⑫まだ、このことの市民の周知が足りないと思うので、もっと市民に知ってもらうとより多くの意見の聴取ができるのではないかと。</p> <p>⑬取り組んでいるものの反映できているとまでは思えない。議会として市政や議会活動の発信を工夫するとともに続けていくことが大事だと思う。</p> <p>⑭そこまでは至らない。</p> <p>⑮市民の貴重な意見や思いは執行部に対して説得力があるので、議案に反映できていると思う。</p>	

<p>【取組・成果】</p> <p>◆動画配信による議会報告</p> <p>①3月定例会 募集した案件数 5件 意見があった人数及び件数 2人／7件</p> <p>②6月定例会 募集した案件数 1件 意見があった人数及び件数 1人／1件</p> <p>③9月定例会 募集した案件数 3件 意見があった人数及び件数 5人／7件</p> <p>④12月定例会 募集した案件数 1件 意見があった人数及び件数 1人／1件</p> <p>【成果】</p> <p>・いただいた意見からは、新たな視点を得ることができた。</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p>○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>(改善策) 意見を募集していることを周知する。</p> <p>(改善策) 全員懇談会（定例会ふり返り）で市民への回答までを報告する。</p> <p>(提言) 市民に認知してもらうまでは時間を要するが、継続することが重要である。</p> <p>(提言) 広聴広報委員会での議案選考において「何について、どのような意見を聴くべきか」という視点の共通認識が必要。</p>

(議基 5条、12条(1)~(6)、13条、14条、15条、19条、25条)

設問7	論点整理によって、委員会・分科会における議案審議は、より慎重な審議が できているか。
○：14人 ×：4人	
<p>①活発な意見交換ができており、慎重な審議ができています。</p> <p>②論点整理によって以前より議案の理解を深めて、より慎重な審議に繋がっていると思 うが、個人差があると思う。個々の議員力、また理解力を上げる努力が必要だと考える。</p> <p>③着眼点が明確になることによって議案ごとに疑問点が解消されている。委員会、分科 会での議案審議が活発になった。</p> <p>④まあまあ出来ているように見える。</p> <p>⑤確実に論点整理をする前よりは委員会として準備をするため、慎重な審議になってい る。</p> <p>⑥まだ深い総括質疑、委員会討議に繋がっていない。</p> <p>⑦何をどのような視点で議論すべきかが、共有しているため、委員会等での質疑内容が 深くなったように思える。また、市の計画がどのようなもので、その計画に準じて事 業が行われているのかなど、以前より事業の本質まで質す雰囲気になってきた。</p> <p>⑧会派で行えばより深く出来る。</p> <p>⑨できていると思う。</p> <p>⑩委員会等各議員からの積極的な意見が多く出されるようになった。</p> <p>⑪論点整理により、多様な議案審査の方法や観点が明らかになり、参考になる。</p> <p>⑫あまり決めてしまうのはよくないが、委員会で論点が整理され、よりよい質疑ができ た。</p> <p>⑬十分な実感はないが、審査内容について整理できるようになっているのかとは思う。</p> <p>⑭前もって論点整理（勉強会）は必要ない。委員会、分科会でしっかり審議すべき。</p> <p>⑮できている部分もあるが、論点を把握できてない場合があり自己研鑽が必要と感じる。</p> <p>⑯議員になって1年なので過去のことはわからないが、徐々に慎重な審議ができてい るのではと思う。先般の委員会では議員間討議も行った。議員間討議は非常に大事だ と思うのでこれからも実施していくべきだ。</p>	

<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案の委員会付託手続きを行った後、各常任委員会及び分科会にて論点整理を実施。 ・募集した市民の意見の確認 	
<p>【委員会評価】</p> <p>○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【課題】勉強会や論点整理で出された意見によって、考えが誘導されていく恐れがある。</p> <p>【課題】個々に、事前に議案を熟読し準備していない。</p> <p>【課題】「論点整理の場」は必要ないという意見を鑑みて…</p> <p>論点整理の目的は、各議案の着眼点を確認しすること。募集した市民の意見を共有し、取り扱いを協議する場であることを再認識する必要がある。</p> <p>【成果】議案勉強会、論点整理を経ることで、議員が各議案に対する意見を整理して持てるようになり、議員間討議、討論、採決へつながった。</p> <p>【成果】論点整理によって慎重な議案審議が行える。ひいては、行動計画に掲げたビジョン「市民の声を聴く」「合意形成を図る」ことにつながっている。</p> <p>【成果】論点整理がうまくできた議案の審査は、慎重な審査につながっている。</p> <p>【改善】論点整理の場で、当初予算（事務事業）の不明点を1議員1件は出し、分科会で共有する。</p> <p>【改善】論点整理の目的は、各議案の着眼点を確認しすること。募集した市民の意見を共有し、取り扱いを協議する場であることを再認識する必要がある。</p> <p>※論点整理の際、目的、ビジョンを再確認しながら、「何のためにやっているか」を共有していく。</p>

■議会報告の充実（議基 3条-(1)~(3)、8条、10条）

設問 8	審議した内容、議決に至った経緯を議会として十分説明できているか。
○：11人 ×：7人	
<p>①説明はできているが、もう少し議決に至った経過が伝わるとより良くなると思う。</p> <p>②報告会においては時間制限もあり、十分ではないと思う。 個々で市民に説明を求められるときは、説明できていると思う。</p> <p>③限られた時間の中で対面報告、動画配信とも説明できている。市民が興味をもっていると思われる議案にしぼって報告しているので、関心は高かった。</p> <p>④広報や議会だよりによってわかってもらえると。</p> <p>⑤説明できる内容は増えたが、十分ではないと感じる。</p> <p>⑥まだまだ努力が必要。どうしてその議案を採決したのか理由を明確に言える議員はまだまだ少ない。</p> <p>⑦委員会の審議動画を、録画公開を含め配信できるようになったのは大きな前進。一方で、議会だよりでは、より審査過程をわかりやすく説明できるような誌面改善は必要。議会だよりでも一般質問を、会派ニュースでも一般質問を掲載するケースが多いが、動画配信や FM 放送もあり、議会だよりの一般質問の掲載の方法について検討し、議案審査についての掲載を増やしたほうが良いとも考える。</p> <p>⑧採決が分かれた議案はもちろん、賛成、反対、請願などに対する審議過程をどのように報告するかは話し合いしていくのは、これからの課題と考える。 議会中継、録画配信をもっと観てもらおう方法が課題と考える。</p> <p>⑨議会だよりや HP などでも説明できている。</p> <p>⑩賛成討論・反対討論を確りで行い、よむ議会などでも報告をしている。</p> <p>⑪課題として反対討論を賛否そろわないと広報には載せないという方針のため、議決に至った議会の論議が見えなくなっている。</p> <p>⑫限られた時間内で過不足なく説明できた。</p> <p>⑬十分とまでは言えない。もう少し工夫がいると思う。</p> <p>⑭ほぼそう思う。</p> <p>⑮十分ではないが説明できている。</p> <p>⑯できている。</p> <p>⑰議会だより、QR コードからの読み取り、録画配信、いなべ FM といった媒体以外にも、それぞれの会派新聞で説明をしていると思う。ただしなぜ賛成なのか討論してほしい市民がおられる。</p>	

<p>【取組状況】 説明（発信）する環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会報告会 ・ 動画配信 ・ 議会だより ・ 中継・録画配信 ・ いなべFM ・ SNS ・ 議会ホームページ 	
<p>【委員会評価】</p> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;">○</div>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【課題】 議会だよりと会派報のすみ分け ※重複する情報の発信</p> <p>【成果】 議会報告会の回数は1回→10回 中継だけでなく、録画配信も開始 議会としては、今できることは努力している。</p> <p>【成果】 議会だよりのQRコードはとても有効的。</p> <p>【改善】 QRコードをもっと活用！←「かぎす議会だより」 あらゆる世代が情報収集できる環境であることを念頭に。</p> <p>【改善】 議会モニターからの意見、市民アンケート（2,000人）から 市民が求める情報は何かを探求する。→議会報告会での説明方法から工夫する</p> <p>【改善】 議会モニターのアンケートと議会のイベント（報告、発信など）との連動を意識したスケジュールを組む。</p>

(4) 政策立案・提言、議案審議（課題認識の精査⑥）

■ 「議会ならではの」の視点（議基 5条、12条(1)～(6)、13条、14条、15条、19条、25条）

設問 9	議案を可決して執行することによる市政及び市民生活へのリスク、市民不安の払しょくなど、調査研究や着眼点の整理などによって「議会ならではの」の視点は発揮できたか。
○：13人 ×：5人	
<p>①まだまだ、議会ならではの視点を発揮するところまでいっていない。</p> <p>②十分とは言えないかもしれないが着眼点の整理によりできている。委員会、会派等で現場を見ることを増やす。同じ可否でも会派内での勉強会により内容が濃くなった。</p> <p>③まだ発揮できたとはまでは言えない。</p> <p>④議案により、採決にて反対の意思を表し、議案に反対するなど議会ならではの視点を発揮できた。宇賀溪で態度を示せた。</p> <p>⑤まず、前提として市民の意識の中に二元代表制への認識はないに等しい。議決機関と認識していただくためには、議会改革でつくったしくみをチーム議会として活かしていく意識改革が重要。所管事務調査自体があまり進んでいない委員会があることに懸念。また、専門家など参考人招致についても積極的に活用したい。</p> <p>⑥常に現場に行き、会派で話し合っている。</p> <p>⑦着眼点の整理などして、できたのではないかと思う。</p> <p>⑧委託金・補助金等においても必要な案件については可決をして、市民の安全な環境づくりに貢献できている。</p> <p>⑨まだまだ不十分ではあるが、委員会での調査提言が少しずつ行政を変えた部分もある。</p> <p>⑩18人のいろんな考え方、立場があるなかで、議会としての視点が発揮できた。</p> <p>⑪「議会ならではの」の視点とまでなっているとは言えない。</p> <p>⑫各種補助金などにより執行できることで議会ならではの活動ができた。</p> <p>⑬部分的にはできてないところがあるが正当な理由での可決でリスクは減らしたと思う。</p> <p>⑭議員一人ひとりの調査研究や着眼点の整理がどこまでできているか不明であるため、議会ならではの視点は発揮できていないように思う。</p>	
<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案勉強会 ・ 論点整理 ・ 声カフェ ・ 所管事務調査 	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【成果】 委員会での多角的な質疑が増え、討議も増えた。委員長のファシリテーション能力を上げれば、さらに「議会ならではの」の視点を発揮した審議・審査ができるようになる。</p> <p>【成果】 議案勉強会、論点整理、所管事務調査などの体制を活用し、議会独自の視点を持って議案審議を行った。</p> <p>【課題】 市民からの意見募集をもう少し間口を広げ、より多くの市民から意見をいただける体制が必要。</p> <p>【成果】 日ごろの議員活動で得たものを議会へ反映できた！</p>

■政策立案に向けた調査・研究（議基 3条-(3)(4)、9条-3、11条、22条-1、23条）

設問 10	特別委員会を活用し、政策立案に向けた調査・研究を行う必要はあったか。または、政策立案に向けた調査・研究したい項目はあるか。
○：9人 ×：8人	
<p>①高齢化や免許返納など交通弱者といわれる方々がますます増えることから、福祉バスを補完するようなオンデマンド交通についての調査・研究</p> <p>②今までに、政策立案のための特別委員会が必要であったかはわからない。今後、私は「子どもの権利条例」について研究し、ぜひとも条例を作りたいと考えているので、特別委員会だけでなく調査研究委員会のようなものの立ち上げをしたいと考えている。</p> <p>③調査研究までは至っていないと思う。</p> <p>④主権者教育について、特別委員会を設けて選挙管理委員会と共に調査・研究したい。</p> <p>⑤この一年の事業ではないが、野遊び SDGs については特別委員会を設置するなどしたほうがよかったと感じる。</p> <p>⑥野遊び SDGs など、金額が大きく、市民に影響を与える事業は多面的に検討するために特別委員会を開く必要があるのでは。</p> <p>⑦こどもの権利条例、議会 ICT 推進（SNS など広報も含め）、高齢社会での公共交通のあり方、地域コミュニティの持続可能モデル、周辺議会との広域協議・連携、大規模公共建築物を所管する特別委員会、都市計画</p> <p>⑧宇賀溪キャンプ場、野遊 SDGs、グリーンインフラなど市が長期的に取り組んでいる事業について、もう少し詳しく審議すべきであったと考える。そのための情報が少なく特別委員会で皆んなで調査すべきであったなと考えます。</p> <p>⑨調査研修については十分な調査に踏み込めなかった部分もあり、政策立案にはまだ至っていない。</p> <p>⑩総合計画に策定段階からかわることは、今後のいなべ市の政策決定に大きくかわることであるので必要だった。地方創生事業として大々的に取り組むこととなったキャンプ場の効果などについて、議会としても評価、確認の作業があるのではないか。</p> <p>⑪獣害、空き家、北勢線、地方創生、人口減対策などなど特別委員会を設置しても良いと思うテーマはある。</p> <p>⑫政策立案にまでは至っていない。</p> <p>⑬政策立案にそこまでは至ってはない。</p> <p>⑭調査・研究には至っていない。</p> <p>⑮特別委員会を設置して取り組むことで深掘りできるし、議論が深まるので必要ありと思う。調査研究したい項目は「公共交通計画及び北勢線存続に向けた特別委員会。</p>	

<p>【取組状況】 ・総合計画特別委員会</p>	
<p>【委員会評価】</p>	<p>【検証、改善策等】 【課題】 政策立案に向けた調査・研究を行う必要はあったが、現状、タイムリーに動けていない。</p> <p>【改善策】 ①議員は、調査したいテーマを全員懇談会で挙げる ②調査の場は、特別委員会なのか、常任委員会なのか、会派なのか議会の協議により決定。</p>
<p>×</p>	

(5) 総合計画、政策評価、予算・決算の連動（課題認識の精査⑦）

■総合計画基本構想の慎重審議と各計画の確認強化（議基 3条-(4)、11条、12条、17条）

設問 11	市の施策の根幹をなす各種計画の策定に当たっては、議会へ十分な説明が行われているか。
○：8人 ×：10人	
<p>①思わない。 新しい計画が進むときには、全員協議会を開催するなど、丁寧に説明をしてほしい。</p> <p>②説明はされていると思う。</p> <p>③策定中であり、議会への十分な説明が行われていない。</p> <p>④はっきりと説明されていないと思う。</p> <p>⑤議会への十分な説明があったとは思えない。</p> <p>⑥分には言い難い</p> <p>⑦基本構想のみの詳細説明で止まる場合も多い。また、議員・議会から資料提出要望がまだまだ不足しているとも思う。必要な場合は、積極的に予備日や継続審査が活用していかなければいけない。</p> <p>⑧宇賀溪キャンプ場レストラン棟の建設の議案の説明など、詳しく説明する意思が見られなかった。また国際交流協会支援事業の補正予算においても、詳しい説明がなされていないと感じている。</p> <p>⑨行政に関する説明会などで、説明されている。</p> <p>⑩説明はなされている。</p> <p>⑪説明については不十分と思うが、それを求める議会、議員の意識が問題。（自分のことですが）</p> <p>⑫全員協議会だけであるため。また、質問がしづらい雰囲気もあるため。</p> <p>⑬始まったが、まだ手応えはない。</p> <p>⑭理解できる説明は行われている。</p> <p>⑮説明できている。</p> <p>⑯説明はなされている。</p> <p>⑰各種計画の策定に当たり、通り一遍の説明はあっても十分な説明がされていない。ときどき議会軽視が見受けられる。</p>	
<p>【取組状況】</p> <p>・全員協議会で、更新された各種計画について担当部より説明を受けた。</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>【継続】</p> <p>今後も、策定後、速やかに計画の説明を受ける。</p>

■政策サイクルの確立（議基 3条-(1)～(4)、7条、10条～13条、17条、25条、26条）

設問 12	議会に期待される役割（ミッション）に掲げた①執行機関を監視・評価、②市民意見、要求、要望の把握、③政策提案・提言、④市民への説明責任を意識した活動ができたか。
○：14人 ×：4人	
<p>①行動計画に基づき活動できていると思う。</p> <p>②上記の4点を意識した活動はできたと思う。 成果については、100点満点とは言えないものの、50点ぐらいはできたと思う。</p> <p>③意識した活動をしていると思う。</p> <p>④議会検証評価特別委員会発足後、役割が明確になり意識して議会に臨めるようになった。議員として、議会ごとに重点をしぼって勉強する必要がある。議案ごとに表決時に、市民に説明できる判断かを意識するようになってきた。</p> <p>⑤少しずつ前向きに進められていると。</p> <p>⑥これまで以上に市民の意見を把握するよう議会としても取り組んだと思う。また、議会改革を行っているという自覚を持ち、説明責任を意識し、取り組んだ。</p> <p>⑦政策提案・提言に改善の余地あり。</p> <p>⑧各市民アンケート、計画、行政の事業評価をもっと活用し審査に当たらねばいけない。計画策定の際の市民アンケート結果中、市民から改善要望が多い施策について、しっかり改善する方向に進展（PDCA）しているかをさらにチェックしていく必要がある。</p> <p>⑨事務事業評価などへの取り組みは出来てきた。しかし委員会毎や担当者によりまだまだ成果や姿勢にムラが出る。委員長の選び方、進め方を改善するべき。議会運営委員会の申し合わせ事項の見直しで、その辺りの意見はまとまった。</p> <p>⑩徐々に進んできていると思う。</p> <p>⑪常に意識して取り組んでいる。</p> <p>⑫まだまだ不十分。①は、特に臨時会が簡単に開けてしまうのでは、執行機関の監視という点で疑問が残る。それ以外の項目については、意識して取り組んでいる。</p> <p>⑬まだまだよちよち歩きの段階だが、着実な一歩を進みつつある。</p> <p>⑭意識した活動ができてきた。おおむね達成。形としては実行できたが、中身の充実は今から。</p> <p>⑮常に意識して行っている。</p> <p>⑯常に意識して取り組んでいる。</p> <p>⑰意識した活動ができたと思う。</p> <p>⑱できているのとそうでないのがあるので、いずれにもチェックした。①③はできている。②④はできていない。②は一部できていてもすべてを網羅していないと思っている。④は意識した活動は自分自身が思っているものの市民が果たしてくれているとは感じていない。（※現状維持を原則して「×」の評価でカウント by 事務局）</p>	

<p>【取組状況】 議員それぞれが、意識して取り組めた。特に②市民意見、要求、要望の把握については、体制を整備し積極的に活動をした。 ①議案審議、所管事務調査、事業評価 ②議会報告会における意見交換、声カフェ ③事業評価 ④議会報告会、議会だよりなど</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>【検証、改善策等】 【成果】 議員それぞれが、行動計画に掲げた①～④を意識して取り組めた。特に②市民意見、要求、要望の把握については、体制を整備し積極的に活動をした。 【継続】 継続して取り組む</p>

(6)体制づくりと活動基盤整備（課題認識の精査⑨）

■全員懇談会の活用（議基 15条、19条、25条、26条）

設問 13	全員懇談会は、議案審議及び一般質問において、議会機能を十分に果たせたかをふり返り、次期定例会へつなげられる機会になっているか。
○：14人 ×：4人	
<p>①少しずつではあるが、振り返りができて、次期定例会につながられている。</p> <p>②初回のことを考えると、回を重ねるに従って、有意義なものになって言っていると思う。これから、有意義なものになるように努力していく。</p> <p>③議会終了後、全員懇談会を開き、ふり返りを実施するようになった。時間は要するが、一般質問を1項目ずつ精査できると良い。全員懇談会によって次期定例会へつなげる意識はできてきている。</p> <p>④取り組んでいるとは思えない。</p> <p>⑤様々な意見が出ており、ふり返りの場になっていると感じる。</p> <p>⑥以前に比べ活発な意見が出るようになった。</p> <p>⑦議員の意識統一が確立できず、客観的にふり返る機会にはなっていない。</p> <p>⑧始まったばかりだが、目的が曖昧で議員全員の意識がまとまっていない。早くも形骸化していると感じる。目的を明確にし、議論を活発に行い、目標達成に向けた懇談会にすべきと思う。</p> <p>⑨なっている。</p> <p>⑩全員懇談会等で問題共有を行えているが、徐々に定例会議案の審議に繋がってきている。</p> <p>⑪全員懇談会は重要な役割を果たしている。次期定例会につなげる機会になっているかは、まだまだ足りないと思う。</p> <p>⑫次期定例会にまだ繋げるまでは至っていない。</p> <p>⑬取り組んでいるが成果は感じられない。議員の全委員懇談会の位置づけ、意識が希薄。</p> <p>⑭十分につながっている。議案内容が事前</p> <p>⑮なっていると思う。</p> <p>⑯部分的につながっている。</p> <p>⑰個人を追及したり批判したりする場ではないので、ある程度遠慮しながら議論しているものの、次回につながる機会である。</p>	

<p>【取組状況】 各定例会閉会后、全員懇談会を開催しふり返りを実施。協議が必要な事項については、会派代表者会、議会運営委員会などしかるべき場所で協議ができるよう引き継いだ。</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【課題】次期定例会へつなげる手段（運営）ができていない。</p> <p>【課題】一般質問で取り上げられた事項が定例会を重ねるたびにバージョンアップされていくと良い。執行部の答弁にも着目していく。</p> <p>【課題】全員懇談会の目的が議員によって捉え方が異なる。全体で認識を共有して進めるべき。</p> <p>【課題】発言する議員が少ない。それぞれが、全員懇談会に向けて思考を整理する必要がある。</p> <p>【課題】それぞれの議員が、各議員の一般質問を委員会で取り上げていくことを意識して全員懇談会で発言していく</p> <p>【成果】行動計画に基づき、定例会のふり返りができるようになったのは前進。</p> <p>【改善】閉会后速やかに全員懇談会を実施すべし。</p>

(7)理想的な姿の構想（課題認識の精査①）

■議会モニター制度の設置（議基 3条(1)、35条）

設問 14	議会モニターの見解が、議会の活動に反映されているか。
○：1人 ×：15人 無回答：2人	
<p>①議会モニターが始まったばかりなので、これからそうなるのだと思う</p> <p>②モニターそのものの見解が把握できていない。</p> <p>③現在、進行中。</p> <p>④1回目なのでわからない。</p> <p>⑤まだ、反映されるまでに至っていない。モニターさんアンケートを基に改善していく必要がある。</p> <p>⑥どのような見解が返ってきているか不透明</p> <p>⑦モニターの見解反映の場が検証評価特別委員会だから、今は回答できない。ただ、モニターへの配信等が事務局任せになってしまっているため、モニター対応に関して広聴部会の役割を検討してもよいかと思う。</p> <p>⑧モニターの募集から目的や活動内容の委嘱と管理まで、責任者が曖昧でモニター様が戸惑っている。まだこれからなので「×」にしたが、始めようとしたことは良いと思う。これも広報部会か広聴部会長を責任者にしてキチンと仕事にするべきだと思う。</p> <p>⑨まだ一回だけなのでわからない。</p> <p>⑩今期からの取組みで、アンケートや見解等現在実施中で結論はまだ出ていない。</p> <p>⑪まだまだ反映できているとはいいいがたい。</p> <p>⑫議会モニターへのアンケート結果の羽根井はこれから。</p> <p>⑬私自身がまだ議会モニターの見解まで意識していなかった。</p> <p>⑭モニターの見解を把握していない。</p> <p>⑮まだ、そこまでは至らない。</p> <p>⑯今後に期待。</p> <p>⑰今年度から始まった制度であり、アンケートの提出期限が12月10日なので、経過措置中。よって反映されていない。</p>	
<p>【取組状況】 議会モニターに対し2回（6月、11月）のアンケートを実施。</p>	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
×	<p>【課題】議会モニターの見解結果が全体で共有できていない。</p> <p>【改善】議会モニターの見解アンケートと議会のイベント（報告、発信など）との連動を意識したスケジュールを組む。 ※取組の初年であり、今後改善しながら充実させる。 ※共有→反映→報告の再確認</p>

■有識者による議会活動の評価（議基 23 条、35 条）

（※今回の検証からスタートしたため、回答は不要ですが、何かコメントがあれば記載）

設問 15	議会基本条例及び議会に期待される役割（ミッション）と議会が実現すべき理想的な姿（ビジョン）に基づく議会活動の検証及び議会機能の向上を図るため、有識者（学識者）を活用できたか。
○： ×：	
<p>①活用できたと思う。議会について詳しい方の講義は、大変に勉強になった。</p> <p>②活用できるように、議員間または会派でも考えたい。</p> <p>③取り掛かっている。</p> <p>④これまでは有効的に活用できている。また、正式にアドバイザー契約する日本生産性本部や江藤先生など、全国の地方議会の現状を把握、分析してきた専門家による検証・評価・課題に合致した研修などを着実に実施してほしい。</p> <p>⑤有識者の意見を聞き、勉強した上で忌憚のない意見をぶつけ合い、心の底から取り組むようにするとよい。有識者に対しても現場を知らない机上の意見だとハッキリと言い、更なる深いご意見をもらいたい。</p> <p>⑥まだ、とりかかっている。</p> <p>⑦有識者（学識者）を活用は出来ていない。</p> <p>⑧まだできていない。</p> <p>⑨今後の課題。</p> <p>⑩これまで講師の方々の研修をもとに活用できていると思う。</p>	
<p>【取組状況】 コンプライアンス研修（オンライン）を実施。 適宜、御意見をいただけるよう体制を整備した。</p>	
<p>【委員会評価】</p>	<p>【検証、改善策等】 議会機能の向上を図るため、有識者（学識者）を活用して研修を実施する。</p>

(8)能力向上（課題認識の精査⑧）

■計画的な議員研修の実施（議基 28 条、29 条）

設問 16	議会及び議員の弱み及び課題を克服するため、議会検証評価特別委員会において計画し研修を実施できたか。
○：11人 ×：7人	
<p>①研修は実施できたと思う。しかし弱みおよび課題克服には至っていないと思うので、今後も研修を実施していただきたいと考える。</p> <p>②進んでいない。</p> <p>③成果となったかはまだわからないが、実施していただいた。</p> <p>④研修が実施できた。</p> <p>⑤行動計画を策定する中、いなべ市議会の強み、弱みをマトリックスに落とし込み、議会プロフィール化できたことは大い評価する。常に行動計画に立ち返る機会として、今後はさらに検証評価特別委員会が、振り返りと課題抽出の場として重要となる。その意識を、委員だけでなく議員全員が持つことが必要。</p> <p>⑥特に計画的な研修を受けたわけではない。今後、何が必要な研修かを計画し実行することは大切だと考える。</p> <p>⑦まだ。</p> <p>⑧委員会を中心として全議員の参加研修ができた。</p> <p>⑨行動計画など作成段階では、たくさんの研修を行ったが、その後は実施できていないと思いますが。</p> <p>⑩特別委員会が主体となった研修会は開催されていない。</p> <p>⑪議員の弱みなどもっていると思わない。</p> <p>⑫計画し研修までには至ってない。</p> <p>⑬思う。議会検証評価特別委員では無いため、ノーコメント。</p>	
【取組状況】 令和7年度実施に向け、令和7年度予算への計上を行った。	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
×	令和5年から令和6年に向けて検証評価特別委員会で整理した課題を基に、有識者（学識者）を招いて研修を実施する予定。 「地方議会の役割と機能」※改選後 「ファシリテーション」※4月～5月 「予算審議と決算審議」※7月～8月

(9) 議員間の討議（課題認識の精査⑤）（議基 3条-(3)、5条-(1)、19条、25条-3、26条-2）

設問 17	議員間討議を積極的かつ円滑に実施できたか。
○：8人 ×：10人	
<p>①委員会では積極的に実施できたと思う。</p> <p>②ほぼできていると考える。</p> <p>③積極的ではないと思う。</p> <p>④回数は少ないが、必要な時に実施している。回数を増やしていく方が良い。円滑とは言えないが、試行錯誤で進んでいる。</p> <p>⑤まだまだ円滑でない。</p> <p>⑥委員長として、議員間討議の正解が不明確であったため、円滑には行えなかった。</p> <p>⑦まだまだ議員間討議を行う素地ができてない。</p> <p>⑧「議論する」ために何が足りないかを明確にする必要がある。そのために、ファシリテーションやKJ法など合理的な会議手法などの研修を実施すべき。</p> <p>⑨委員会にて議員間討議を求めたのは共産党1件、新風いなべ1件だったと記憶する。積極さがないのと、委員長の進め方がまだ経験がたりないので、討議になっていない。自分の意見を言い合って終わりになっていた。</p> <p>⑩積極的に行おうとしたが、円滑ではなかった。</p> <p>⑪積極的に取り組むことは出来ているが円滑という点では、まだまだ時間が必要。</p> <p>⑫実施できたが、討議方法や論点を整理して進めるところまではいっていないと思う。</p> <p>⑬果敢に挑戦している。</p> <p>⑭機会はあるようになったが、まだ議員間討議に慣れていない。</p> <p>⑮十分とは言えないが円滑に実施。</p> <p>⑯少しずつできている。</p> <p>⑰討論になりがちな部分が気になる。</p> <p>⑱私自身、経験が浅いため議員間討議の経験が少なく、また過去の事例が不明だが、積極的に意見を述べる方が少ない。議員一人ひとりに根付いて（定着）しない気がする。</p>	
<p>【取組状況】 常任委員会において積極的に議員間討議に努めた。</p>	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
○	<p>【課題】円滑にできなかった。</p> <p>【課題】本会議ではなかった。</p> <p>【改善策】議員間討議の位置づけとして、多角的な視点で討議（議案審査）をすることが大事。</p> <p>【改善策】円滑に実施するため、事前に「論点」を出すよう心がける。</p>

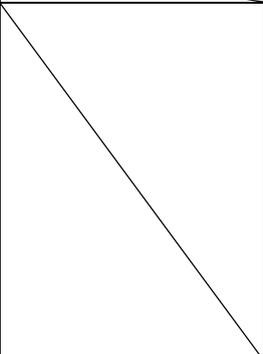
(10)主権者教育と選挙の充実（課題認識の精査⑭）

■主権者教育（議基 前文、理念）

設問 18	児童生徒に身近な自治体である「いなべ市」と「いなべ市議会」を教材として、民主政治と政治参加、市民の生活と市の役割など、さまざまな視点で学ぶ機会にさせていただくように働きかけたか。
○：14人 ×：4人	
<p>①「親子議会体験ツアー」を開催し、学ぶ機会にするように働きかけたが、まだまだ年に1回、2回開催しただけなので十分とは言えないと思う。 以前から意見の出ていた、小中学校への出前議会、議会への見学会など回数を増やして児童生徒に、もっと議会を身近に感じてもらう取組をしていくべきと考える。</p> <p>②働きかけたと思う。</p> <p>③親子議会の開催や議会報告を意見交換も含めて対面で実施している。高校生の議会体験も必要。北勢中学校の議場見学を実施。</p> <p>④親子議会をした。</p> <p>⑤親子議会ツアーの開催は少人数ではあるが、成果があった。</p> <p>⑥親子議会体験ツアーなど新しい取り組みにチャレンジした。</p> <p>⑦北勢中学校の体験授業の受け入れ、夏休みでの親子体験ツアーの開催は意義深い。親子体験ツアーに参加された保護者の方が議会報告会にも来ていただけた。</p> <p>⑧実際に行っていないし計画も方法も未定。やるのかやらないのかも決めていないから。</p> <p>⑨親子議会体験ツアーを行った。</p> <p>⑩中学生の議場見学や親子議会体験ツアー・いなべ総合学園の生徒会とのズーム会議などを実施した。</p> <p>⑪体験ツアーなど取り組めた。今後はもう少し幅広く、（招くだけでなく出かけるなど）取り組めるとよい。</p> <p>⑫まだまだ不十分ではあるが、親子議会体験ツアーは実績。今後は出前教室などアウトリーチができるとさらによい。</p> <p>⑬学校から授業でこられているようだがまだ十分とは言えないと思う。</p> <p>⑭十分に働きかけは行った。</p> <p>⑮子供議会を通じ少しはできたかと思うが、そのあと子供の感想や話が聞けたらと思う。</p> <p>⑯親子議会ツアー程度にとどまっている。議会から働きかけてはいないが、北勢中学校生徒が授業の一環で勉強に来られた程度。</p>	
<p>【取組状況】 北勢中学校1年生フィールドワークの受け入れ</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">×</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【課題】主権者教育で各学校へアプローチするための教材、企画書づくりが進んでいない。（広聴広報委員会）</p> <p>【改善】小学生向けの教材を先行してつくる。</p>

■児童・生徒が議会へ参加する機会（体験を含む）（議基 前文、理念）

設問 19	学校（クラス単位）を対象に、議会を体験するイベントを企画し、市内小中学校へ活用の働きかけたか。
○：5人 ×：12人 無回答：1人	
<p>①十分ではないが、議会報告会のポスターを各学校に持って行けたことは前進だと思う。</p> <p>②クラス単位では出来ていないと考える。</p> <p>③親子議会、議場見学等を企画し、各小中学校へPR実施。高校生への働きかけも必要と考える。来場された親子にとっては貴重な体験になったと思う。</p> <p>④していない。</p> <p>⑤親子議会体験ツアーの働きかけ。来年も参加したいとの意見もあり、拡充していきたい。</p> <p>⑥できていない。</p> <p>⑦プログラム開発を含め今後の課題である。近年、文部科学省で主権者教育の必要性の議論を活発化している。選挙管理委員会や教育委員会への主権者教育促進の働きかけも検討していきたい。</p> <p>⑧実際に行っていない。計画も方法も未定。やるのかやらないのかも決めていない。</p> <p>⑨議会報告会のポスターを各小中学校に掲示のお願いに行った。</p> <p>⑩働きかけについては、まだ、計画段階で実施に至っていない。</p> <p>⑪これからの取り組みに据えたい。</p> <p>⑫学校への働きかけは今後の課題。</p> <p>⑬設問18との違いがよくわからない。</p> <p>⑭できてない。広く周知したい。</p> <p>⑮参加を周知しては。</p> <p>⑯北勢中学校は議会棟に近いため、学習する機会があるが、他の中学校では議会から出向かないと実施できないと思う。毎年いなべ総合学園高校では11月に人権学習ロングホームルームを実施しており、校長に依頼してはどうかと思っている。</p>	
<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子議会体験ツアーを企画・実施（8月） ・議会報告会のポスターを各小中学校へ持参し働きかけた。 	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <p>【成果】親子議会体験ツアーは、参加者のアンケート結果から見て満足度の高い取組である。</p>

設問 20	親子議会体験ツアーを実施して、見直すべき点、拡充すべき点などを、コメント欄に記入してください。
○： ×：	
<p>①実施する日の告知と実施日を参加する生徒の目線での工夫が必要と思う。</p> <p>②学校の自由研究などに利用してもらえるようにするために、また中学校の大会を避けるためにも、開催の時期を8月初旬とかに早めるべき。 模擬採決は大変いいと思うので、さらに賛否に決めた理由を子どもたちに聞くと、子どもの意見が聞けてもっと有意義なものになるのではないかと考える。</p> <p>③もっと参加者が増えたら。(増える方法を探す)</p> <p>④人数制限もあるが募集方法を再検討する。親も含めて多くの子ども達が議場に来てもらうことに意義がある。</p> <p>⑤各学校ごとに参加してもらった方が発言しやすいのでは。</p> <p>⑥どの状況で質問されても答えられるように議会改革については全議員でしっかり落とし込んでおく必要があると思う。</p> <p>⑦議長経験もありかも知れない</p> <p>⑧広報期間を念頭に早めの企画、関係機関への働きかけの強化、若い世代へ向けた効果的な広報(SNS、動画配信)、広報も念頭にした参加者の声。夏休みの自由研究に間に合うタイミングで。</p> <p>⑨喜んでいただいていると思う。プログラムを決めていただいた事務局には感謝する。よかったと思う。私も含め集客に対する責任感がなかった。</p> <p>⑩時間も内容も良かった、今後もっと広がって行くとよい。</p> <p>⑪参加に対するPRの方法や年齢層の絞り込み等が必要を感じる。</p> <p>⑫全体としてよかった。公募では参加者数が限られるので、各学校から推薦してもらうなどの方法も検討しては。</p> <p>⑬今回も上手に運営できた。</p> <p>⑭だいたい今のやり方で続けていったらよいと思う。</p> <p>⑮そのままが良い。</p> <p>⑯見直す点はないが、参加者が少なくて議員からお願いしてなんとか開催できる体制になっているので、開催時期を早めて夏休みの自由課題にできるようにする。</p>	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
	<p>【課題】集客方法の工夫(告知時期、ツールなど)</p> <p>【課題】学校へ出向き、イベントの趣旨を説明し、理解を求める。</p> <p>【課題】開催時期の見直し。7月下旬～8月上旬</p> <p>【成果】「すぐ～る」を活用したことで、参加者は増えた。</p>
	<p>※広聴広報委員会の役割が多いので、議会全体で取り組むようにする。(全員懇談会、グループウェアの活用)</p>

■選挙管理委員会への働きかけ（議基 前文、理念）

設問 21	投票率の向上を目的に、選挙管理委員会と懇談し、取組の役割を明確にできたか。	
○：0人 ×：18人		
<p>①出来ていない。 ②明確でなかった。 ③取り組んでいない。 ④やっていません。 ⑤懇談は行ってない。 ⑥できていない。 ⑦これは議会としてやらねばいけない。 ⑧選挙管理委員会とは話し合いをしていない。 議員間でもこのテーマで話し合いをしていない。 計画も課題にも議会内で聞いた事がない。 やるべきだと考える。 ⑨懇談していない。 ⑩選挙管理委員会との懇談調整等行ってない。 ⑪選挙管理委員会との懇談は皆無だった。 ⑫議会として取り組んだとは言えないと思う。 ⑬行った意 ⑭私自身は選挙管理委員会と懇談する場を持っていない。ハードルが高い問題。</p>		
【取組状況】 実績なし		
【委員会評価】	【検証、改善策等】	
×	・選挙管理委員会へ働きかける前に、何を働きかけるか、投票率を上げるために必要な取組のそれぞれの役割を明確にするなど、議員間で話し合う場を設ける。（全員懇談会）	

(11)法令等遵守（課題認識の精査①）

■政治倫理規程を、議員個々が理解する機会（議基 31 条）

設問 22	継続的に政治倫理規程の遵守を徹底できたか。
○：10人 ×：8人	
<p>①できた。</p> <p>②断片的。</p> <p>③政治倫理基準を遵守している。令和2年2月20日改正の議会規定第1号の勉強会により理解できた。</p> <p>④わからない。</p> <p>⑤倫理規程を常に意識し、行動した。</p> <p>⑥遵守を徹底できた。</p> <p>⑦近年、様々なハラスメントや SNS での配信に仕方などが注目され、時代とともに倫理観の再考が必要になってきている。議会改革を推進する議会として、議会や議員のあるべき姿、政治倫理に関する議論は、毎年、していかなければいけないと思う。</p> <p>⑧改めて勉強会を開き規定の見直しも含めて各自自覚をする機会を設けるべきと考える。</p> <p>⑨講座を行った。</p> <p>⑩まだまだ、各議員の意識改善が必要。</p> <p>⑪研修会で一過性的には学んだが、継続的という点では疑問符。</p> <p>⑫政治家としてしっかり遵守している。</p> <p>⑬自分では守っている。</p> <p>⑭出来ていない部分がある。</p> <p>⑮議員になって1年目。まだまだ勉強不足のため、精進したい。</p>	
<p>【取組状況】</p> <p>コンプライアンス研修の実施</p> <p>立ち返る機会は持った。（研修、議会検証評価）</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p>○</p>	<p>【検証、改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治倫理基準を常に念頭に置く。 ・市民に知ってもらう ↑議会運営委員会で再徹底するための協議 ・公職選挙法の徹底 ・市民に知ってもらう

(12)危機管理（課題認識の精査⑬）

■議会BCPの共有（議基 4条）

設問 23	議会BCPを定期的に議会全体で共有できたか。
○：10人 ×：7人 無回答：1人	
<p>①議会で取り上げられたのは、策定の時だけだったと思う。 もっと定期的に確認作業をして有事に備えるべきだと思う。たとえば、9月議会閉会後行っている避難訓練と共に全員で共有する、とか。</p> <p>②議会BCPの勉強会を実施し、議会終了時に避難訓練も実施。勉強会をもう少し増やして良い。繰り返し勉強会を実施することにより、いつ災害が起きても落ち着いて行動できるようになる。</p> <p>④していない。</p> <p>⑤何回か確認する機会を設けて頂いた。</p> <p>⑥避難訓練を行えた。</p> <p>⑦策定したことは評価する。しかし、共有できてはいない。議員も被災や感染症に感染することも念頭に、能登半島地震の被災自治体議会の実際の対応などを参考に、ブラッシュアップしていきたい。</p> <p>⑧一年に一回やっている。様々な想定の前でやるとよい。</p> <p>⑨研修会等を含め確認が必要。</p> <p>⑩避難訓練等を通じて行われた。</p> <p>⑪こちらも政治倫理と同じく、9月定例会後の防災訓練以外で実績がない。</p> <p>⑫年1回は共有した。が成果にはわからない。</p> <p>⑬できている。</p> <p>⑭BCPとは事業継続計画または業務継続計画で、災害発生時などの資源制約下であっても業務を進めるために備えておく計画であるが、議会全体で共有できていない。</p>	
【取組状況】 避難訓練（議場→外）、議会BCPの検証を実施	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
○	【改善】 避難訓練以外の訓練を考える（議長） 【改善】 共有できていないとしている議員もいることから、検証方法を工夫する。（議会運営委員会）

■議会BCPの検証（議基 4条）

設問 24	議会BCP「9 訓練及び研修」に規定するように、訓練及び研修を通して本計画が機能しているか検証できたか。
○：12人 ×：6人	
<p>①訓練等を実施することにより、機能していると思う。</p> <p>②出来ていないと思う。</p> <p>③研修と訓練により机上では機能していると思う。年1回は市役所全体と消防団、病院等を含めた大規模な訓練が必要。実際に行動し体を動かせば突然時に役に立つと思う。</p> <p>④もう少し、本番さながらの訓練が必要だと思う。</p> <p>⑤機能しているかまでは検証できていない。</p> <p>⑥避難訓練を行えた。</p> <p>⑦今秋に実施した議会防災訓練で、BCPに基づいて懇談できたのは良い機会であった。</p> <p>⑧特に成果はない。</p> <p>⑨避難訓練等実施し行動確認を検証している。</p> <p>⑩防災訓練を実施している点を評価。そろそろマンネリ化してきた感が否めないなので他のやり方を模索する時期では。</p> <p>⑪機能しているかはわからない。</p> <p>⑫検証できている。</p> <p>⑬災害等に直面する経験が乏しく、危機感があまりないため、避難訓練程度に終わっている。</p>	

【取組状況】 避難訓練（議場→外）、議会BCPの検証を実施	
【委員会評価】	【検証、改善策等】
○	<p>【改善】 いなべ市防災計画（R6.3月改訂）との整合性を検証する。</p> <p>【課題】 まず、議員個々に議会BCPを再確認しなければならない。</p>

■執行機関と議会の情報共有 (議基 4条)

設問 25	地震、風水害及び感染症に限らず、事件及び事故等による市の非常時に関して市災害対策本部又は担当部署と速やかに情報共有が図れるしくみをつくることができたか。	
○：10人 ×：8人		
<p>①市内の災害や事故について、国会議員・県会議員から、いなべ市の状況を聞かれることがあるが、いなべ市の災害の状況が我々議員には入ってこない。</p> <p>②出来たと思う。</p> <p>③しくみはできているが、機能できるかどうか。</p> <p>④勉強会により災害対策本部の組織図を明示された。市と災害現場との情報共有で災害現場の責任者をその地区の誰がするのか決めておくが良い。(地区は自治会長だが、班の中でも必要と思う)</p> <p>⑤まったく出来ていない。</p> <p>⑥執行機関との情報共有は今のところ進んでいないように感じる。議会から率先して取り組む必要がある。</p> <p>⑦この検証・訓練は行われていない。</p> <p>⑧事務局、議長レベルでは、一定の情報共有が図られているとは思いますが、議会全体としては懸案だと思う。</p> <p>⑨力を入れてやっているとは感じられない。特に成果はない。</p> <p>⑩計画マニュアルを作成し情報共有が図られている。</p> <p>⑪できていると思う。</p> <p>⑫仕組みはできていると思う。運用がうまくいくかは別問題だが。</p> <p>⑬しくみはできている。</p> <p>⑭仕組みは連絡網としてできているが実際はわからない。</p> <p>⑮議会の連絡網もあり、できている。</p> <p>⑯議長、副議長及び事務局は情報共有が図られているでしょうが、私自身は仕組みができていない。</p>		
【取組状況】 整備済み		
【委員会評価】	【検証、改善策等】	
○	<p>【課題】しくみはあるが、全体で共有できていない。</p> <p>【改善】再確認する</p>	

(13)ふり返りの取組方（課題認識の精査⑮）・ふり返りの結果の活用（課題認識の精査⑯）

■一般質問で取り上げたテーマ（個人の問題提起）の検証（議基 15 条、35 条）

設問 26	一般質問終了後の委員会において、所管する事項を確認し、必要に応じて委員会を中心とした議会のテーマとして取り上げることができたか。
○：2 ×：16	
<p>①まだまだそこまでに至っていないと考える。</p> <p>②一度、太陽光発電の条例について取り上げた。ふり返りの取り組み方について再度議員間での認識の共有が必要と感じた。ふり返りは大事で、一般質問の中に重要な項目があることがあり、引き続き実施すべきである。</p> <p>③出来ていない。</p> <p>④ゼロではないが、まだほぼできていない。</p> <p>⑤個人ベースの反省に留まり、委員会ベースではできなかった。</p> <p>⑥今後の改善すべき課題である。</p> <p>⑦今年度は取り組んでいない。振り返りをする前に、そのための準備を会派内で話し合ってから振り返りに臨み、提案をしていきたい。 前期は振り返りは無かったが都市教民委員会で篠原委員長の元、太陽光発電事業の課題を所管事務調査から意見書を国と市に提出出来た。委員長、委員会次第ではあるが、重要な取り組みだと考える。</p> <p>⑧委員会での議論が出来つつある。</p> <p>⑨部分的ではあるができた。</p> <p>⑩まだ、一般質問が個人の議員のものという呪縛から解放されていない。</p> <p>⑪取り上げて検証しなかった。</p> <p>⑫出来てない。</p> <p>⑬形式的なものにとどまり、踏み込んだ議論はされていない。また委員会を中心とした議会のテーマは設定していないし、個人が問題提起したことを検証していない。いまのレベルでは無理ではないでしょうか。</p>	
<p>【取組状況】 実績なし</p>	
<p>【委員会評価】</p> <p style="text-align: center;">×</p>	<p>【検証、改善策等】 委員会の「その他」の項で振り返りを確認する。 所管する委員会が違う場合は会派内で検討するか、所管する委員に伝える。</p>

(14)内部資源と外部連携の活用（課題認識の精査⑩）

■タブレット端末のさらなる活用（議基 24条）

設問 27	オンライン審議が機能するよう、条件整備、体制整備に向け協議を開始できたか。
○：3人 ×：13人 無回答：2人	
<p>①もしもの時の予行演習は必要と思う</p> <p>②出来ていないと考える。</p> <p>③対面の方がよい。</p> <p>④新端末導入により進展できた。全部ではないが慣れてきて整備に向けて進んでいる。</p> <p>⑤少しも進んでいない。</p> <p>⑥新しいタブレットになり、事務局とのやりとり、データベースへのアクセスの俊敏さが非常に速くなった。</p> <p>⑦BCP の中では、オンライン審査について盛り込まれてはいるが、具体的な運用については今後の検討事項である。</p> <p>⑧タブレット機能は準備出来た。あとは実行してみることが大切だと思う。 この機能が充実すれば議員にサラリーマンがなれる可能性が出てくる。そのための機能とは何が必要かの議論も始めたい。 また、コンピュータとはオンライン、計算、検索機能があって便利に使えるのであって、今は検索機能が弱い。Yahoo、Google、チャット GPT、SNS など自由につかいこなし、各自のスマホと連携し、議場でも自由に使うようにしないなら、あまり効果はない。 今は紙の資料の方が便利である。思い切って不便になってもいいので紙を無くして仕事をする実験に取り組んではどうか。課題が見えてくる。 オンライン会議もやってみる。出来ない人には出来るように個人研修をして本気でやる必要がある。</p> <p>⑨具体的な取り組みに至っていない。</p> <p>⑩判断できません。</p> <p>⑪そのような協議は開始されているとは言えない。</p> <p>⑫そのようなことすべきでない。対面が当然。</p> <p>⑬十分ではない。</p> <p>⑭今後の問題。</p> <p>⑮機能についていけずタブレットも不慣れな状態。そもそもオンライン審議はハードルが高いため、協議開始はできていない。</p>	
【取組状況】 会議規則及び委員会条例を令和7年3月に改正し、オンラインによる審議ができるよう環境を整備する。	
【委員会評価】	【検証、改善策等】 条例改正後（令和7年3月以降）取り組む。 議会BCPを念頭にオンラインでの会議を企画。（議会運営委員会） 【改善】 タブレット端末の使用について、全員懇談会において研鑽する。
○	

■外部連携の活用 (議基 23条)

設問 28	議会が専門的知見を必要とする機会に迅速に対応できるよう、近接する大学、学識者などと連携する体制を整備できたか。	
○：5人 ×：12人 無回答：1人		
<p>①出来ていないと考える。</p> <p>②近接する大学？</p> <p>③議会検証評価特別委員会設置時に、学識者と連携できた。専門的知見を徴取後、議員間で協議する場があると良い。専門的な学識者の意見を聞き、考え方が深まった。</p> <p>④わからない。</p> <p>⑤まだできてない</p> <p>⑥現在、アドバイザーを選考したばかりで、近隣の学識者をどのように採用するかを、慎重に検討する必要がある。他の地方議会では、アドバイザーとそうした学識者と意見のずれが生じ、混乱しているケースがある。</p> <p>⑦四日市大学、大正大学など事務局任せですが、いつも用意されていると認識している。</p> <p>⑧連携する体制に至っていない。</p> <p>⑨できていないと思う。</p> <p>⑩三重大、四日市大等との連携は皆無。</p> <p>⑪十分にできている。</p> <p>⑫今後の問題。</p> <p>⑬私個人ではどうすることもできないため、ノーコメント。</p>		
<p>【取組状況】 取り組んでいない</p>		
【委員会評価】	【検証、改善策等】	
×	<p>【改善】 近接する大学との連携協定の締結に向けて議会運営委員会で協議。</p>	